

# 「学力向上ポートフォリオ(中学校版)」

## 学力向上目標

すべての生徒に対して、

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得

・数学の自校テスト「知識・技能」に関する平均正答率を60%以上にする。

○思考力・判断力・表現力等の育成

・数学の自校テスト「思考力・判断力・表現力」に関する平均正答率を60%以上にする。

○主体的に学習に取り組む態度の涵養

・学校評価アンケートにおいて、「学校に来るのが楽しい」「学習に積極的に取り組んでいる」の肯定的な回答の割合を令和2年度より3pt向上させる。

## 具体的な手立て

- ① ドリルパークや小テストを活用し、知識及び技能の習得の確認を行う。
- ② 「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」における「協同」を重点とした学習活動を行う。
- ③ 数学の学習において、レポートや説明問題を課し、自身の考えを深め、表現することができるように指導する。
- ④ 宮前中学校授業五訓を徹底し、授業規律の徹底を行う。
- ⑤ ICT を効果的に活用した自分の考えを深めたり、広げたりする授業実践を行う。

## 結果

- 数学の自校テスト「知識・技能」に関する平均正答率は60%以上となり、「思考力・判断力・表現力」に関する平均正答率は60%にならない学年もあった。
- 学校評価アンケートにおいて、「学校に来るのが楽しい」「学習に積極的に取り組んでいる」の肯定的な回答の割合を令和2年度よりそれぞれ2pt向上した。

## 今年度の振り返り・次年度に向けて

上記の結果から学力向上目標は目標値には届かなかった。しかし、学校に来るのが楽しい生徒、授業に積極的に参加する生徒が年々増加していることや3年間を通して9割の生徒が積極的に授業に参加できていることを考えると、学校として取り組んでいる内容に一定の効果が表れていると言える。

また、難しい課題に対して失敗を恐れている傾向にある生徒が約3割いる。その生徒に対して、どのようにアプローチしていくかが今後の課題としてあげられる。